

乙訓青年会議所の先輩諸兄は「明るい豊かな社会」の実現に向け、熱い情熱と高い志を胸に活動してこられました。そして、37年目を迎える我々も先輩諸兄の想いを引き継ぐべく、JAYCEEとしての誇りを胸に地域の負託と信頼に応え続けていかなければなりません。また、組織として守るべき「約束事」や「決まり事」を周知徹底すると共に、公益団体として信頼性のある組織基盤を確立し、次代へと引き継いでいく必要があります。

本年度、総務財政委員会は会議設営や運営面に於いて、先輩諸兄が築き上げてこられた会議体制を継承する事はもとより、命とも言える貴重な時間の中でより濃密で実り多い会議が行える様に取り組んで参ります。その為にも、各委員会とコミュニケーションを密に図り、進捗状況の確認を行う事により議案の送信期日を厳守し、円滑な会議運営が行える様に取り組みます。

青年会議所の事業は背景、目的、手法を盛り込み「計画、実行、検証」のプロセスで形成されます。会議運営を担う委員会として「何の為に」という事を常に意識して活動し、運営方法や予算編成、予算執行、コンプライアンスに関する審査を適正に行います。そして、財政面では、会員一人ひとりの年会費から事業予算が捻出されている事を念頭に置き、予算に不備が無いかを確認するだけではなく、事業目的に対する費用対効果も審査すると共に、各委員会の想いが込められた青年会議所運動が全力で成し遂げられる様に致します。また、運営基盤を確立する為に、会議運営システムやルールを周知徹底する事務事項説明会を開催し、LOM運営マニュアルや会員名簿、基本資料を作成致します。更に、役員セミナーでは、理事長より1年間の活動方針と方向性について示して頂くと共に、経験豊富な先輩から創立当初より受け継がれてきた誇りや伝統を次代に繋いでいく為に「JCの約束事」や「JCの決まり事」を念頭に置き、役員としての責任と自覚について伝えて頂きます。7月例会では、我々の活動が「何の為に」行うのかにこだわり、更に信頼される公益団体になる為に、組織として守るべき定款、運営規則、総会や会議の重要性を学んで頂きます。12月例会では、1年間の集大成として、本年度の様々な活動を振り返って頂き、顕著な活動を行ったメンバーを称えると共に、次年度の活動の糧になる例会を開催致します。また、組織をより強固にする為に、積極的に会員拡大に取り組み、あらゆる事業に率先して参加協力致します。

何事にも真剣に取り組む姿は、多くの人々の心を動かします。会員がお互いを支え合う事により、強い信頼関係が生まれます。まずは、自分を律し、何事にも前向きに日々のJC活動に取り組む姿を見せ、メンバーとの絆を更に深め、JC活動が出来る歓びを周囲に伝播致します。そして、組織の中樞を担う委員会として、全てのメンバーがJC活動に誇りを持てる様に全力でサポートして参ります。